

おめでとうございます

新年のご挨拶を申し上げます～

新

年あけましておめでとうございます。

平成二十九年の新春を、町民の皆様とともに迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

早いもので、平成二十六年七月の町長就任から二年と五ヶ月が経過いたしました。この間、中学生までの医療費無料化をはじめ、学童保育の充実、長万部高校生の通学手段の確保、ちらい農場の誘致、災害時の避難路確保や全町一斉避難訓練の実施など、各種公約や施策の実現に全力を傾注してまいりました。

引き続き安全・安心で暮らしやすいまちづくりのため、決意を新たに町政の執行に取り組み所存であります。

昨年を振り返りますと、リオデジャネイロオリンピックでの日本代表選手の活躍や、北海道日本ハムファイターズの日本一など、明るい話題もありましたが、八月に入り北海道に相次ぎ

上陸した台風は、各地に大きな被害をもたらしました。

本町においても台風10号による強風のため、家屋の損壊や倒木などの被害が多数発生し、基幹産業であるホタテ養殖漁業にも大きな被害がもたらされました。

八月二十三日から二十七日にかけては、東京理科大学長万部キャンパス開設三十年記念イベントとして、宇宙飛行士の毛利衛氏による講演会や全国から同窓生が集う大同窓会、長万部町のこれからのテーマにした長万部フォーラムなどが開催されました。

フォーラムでは三十年の歴史を振り返るとともに、長万部町の地方創生へ向けた取組紹介や、理科大との連携事業についての発表が行われたところであり、今後、諸施策の実現に向け、引き続き理科大のご協力をいただきながら、明るい未来のまちづくりを目指してまいります。

長万部町長

木幡 正志



昨年三月に開業した北海道新幹線は利用の好調が伝えられ、本年は町内に鉄道建設所の設置も予定されております。

広域玄関口となる新幹線長万部駅の実現は町の未来を大きく変貌させる好機であり、今後とも町民の皆様と知恵を絞り力を合わせて、新駅を活かしたまちづ

くりや観光の振興に取り組んでまいります。

結びに、新年も町民様の格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、今年も皆様方にとりまして、健やかで穏やかな年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

2017年
酉年
年頭のご挨拶

新年あけまして ～町民のみなさまへ謹んで

新

年明けましておめで
とうございます。

輝かしい新春を皆様と
もに迎えられましたことを
心からお慶び申し上げます。

昨年を顧みますと、なん
と言っても整備計画から四
十三年、多くの道民の悲願
であった北海道新幹線（新
青森―新函館北斗間）が開
業し、九州から北海道まで
新幹線で結ばれた記念すべ
き年でありました。

札幌までは二〇三〇年度
末の完成・開業を目指すこ
とが決定されており、長万
部町でも鉄道建設所の建設
やトンネル工事が進められ
るなど、徐々に現実味を帯
びてきております。

近い将来の新幹線長万部
駅開業を見据え計画的にま
ちづくりを進める必要が、
長万部町創生総合戦略の基
本戦略の一つでもあること
から積極的に調査・研究に
取り組んでまいります。

また、もう一つの基本戦
略である東京理科大学との

連携事業についても協力体
制を強固なものにする必要
があると考えているところ
であります。

人口の減少を緩和し長万
部町が将来にわたって存続
していくため、長万部町創
生総合戦略は非常に重要で
あります。議会としても、
これらの効果検証に携わ
り、行政と一丸となってま
ちづくりに邁進する所存で
あります。

ところで、これまで議会
改革について議論を進めて
まいりましたが、議員定数
も減少し地方分権が進む
中、議会全体として町民の
負託に応えるべきとの認識
のもと、昨年、長年採用し
てきた会派制度を全会一致
で廃止いたしました。この
結果、議会に関わる案件は
すべて全員で議論を交わす
ことになり、議員一人ひと
りの見識が従来より増して
求められるようになりまし
た。

今年は、私たち議員も任

期の折り返しの年となりま
す。より身近な議会、開か
れた議会を目指し、議会・
議員はどのようにあるべき
か足元を見つめ直し、町民
の皆様の期待にこたえてまい
りたいと、あらためて決意
しております。今後ともご
指導ご鞭撻賜りますよう、
心からお願い申し上げます。
結びに、昨年、北海道各

地で台風による甚大な被害
を受けましたが、本年は天
候に恵まれ平穏な年であり
ますよう祈念するとともに、
町民の皆様のご健勝と
ご多幸を心からお祈り申し
上げ、新年のご挨拶といた
します。

長万部町議会議長

辻 義 雄

